



市民の命と暮らしを守る
まちづくりについて

公明党 日吉 弘子

- 問 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市民の命を守る取り組みとして、3密を避けるためホテルなどの受け入れを含め多くの避難所を開設することが重要です。感染症に対応した災害対策や避難所体制の構築について伺います。
- 答 (市長) : 感染症に対応した災害対策や避難所体制の構築は重要であり、状況に応じて多くの避難所を開設します。また災害協定を活用して市内のホテルなどを借り上げて避難所とすることも考えています。
- 問 感染症対応の災害対策ガイドラインについて伺います。
- 答 (市長室長) : 感染症に対応する避難所の開設や運営を領についても新たなガイドラインを検討しています。また、避難所担当職員に感染症予防に留意した避難所の開設・運営を教育していきます。
- 問 防災ラジオの無償配布の拡大について伺います。
- 答 (市長室長) : 消防庁の戸別受信機配備促進事業により、土砂災害警戒区域内の要配慮者へ無償貸与を検討します。
- 問 小中学校の屋内運動場のエアコン化とマンホールトイレの取り組み状況について伺います。
- 答 (教育部次長) : 屋内運動場のエアコン化などは、令和2年度中に中新田小、上星小、柏ヶ谷中で実施予定です。
- 答 (まちづくり部長) : マンホールトイレは、令和2年度にわかば会館に6基設置予定です。
- 問 コロナ禍により暮らしに影響を受けている市民や個人事業主に対する経済的支援について伺います。
- 答 (市長) : 市中小企業等事業を経営支援事業の対象業種の拡大を考えています。地域の方が生활する上で役立つような支援を検討してきたいと思います。



防災ラジオ



学校教育及び高齢者などへの
新型コロナウイルス対応について

政進会 志野 誠也

- 問 今後の学校運営について。オンライン授業をどのように考えているのか伺います。
- 答 (教育長) : オンライン授業は学習だけでなく顔を見ての健康観察などができることで子どもたちの心が安らぐので、機器が揃わなくても教室内でシミュレーションをして、すぐには学校で進めなければならないと考えています。
- 問 児童生徒一人1台の機器整備が必要だと考えますが見解を伺います。
- 答 (市長) : 地方交付税の不交付団体なので3分の1は市単独で予算を出さなければなりません。多額の費用がかかりますので、今後の教育予算全体について教育長と前向きに協議していきたいと思います。
- 問 オンライン授業への取り組みのために各家庭の通信環境調査を進めていただきたいのですが見解を伺います。
- 答 (教育部専任参事) : 早急に通信環境の調査が必要だと考えており、各家庭に調査の協力をお願いする予定です。
- 問 オンラインでの不登校対策の取り組みを伺います。
- 答 (教育部専任参事) : ICTを活用した学習支援は効果的だと認識しており、活用に向けて前向きに検討します。
- 問 子どもの学習・生活支援でのタブレットを使ったオンライン対応が実験的に行われ成果があつたと聞いていますが、タブレットの導入を進めてはいかがでしょうか。
- 答 (保健福祉部次長) : 生活困窮世帯での学習習慣がない子どもなどに有効的に機能したと聞いていたことから、今後、方法などを具体的に研究したいと考えています。
- 問 生活に困窮する世帯は間違いなく増えています。スケールライフサポートについて、今回の新型コロナ対策に伴う世帯収入の減少に対して、さかのぼってサポートしてほしいと思いますが、見解を伺います。
- 答 (教育部長) : 家計が急変した世帯に対して追加での給付を検討しています。4月1日にさかのぼって認定を行う

- など、今できる支援を迅速に届けたいと考えています。
- 問 高齢者などの福祉について。健康面では高齢者のリスクが高いと言われているので、高齢者が関わる活動の見直しが必要と考えますが、今後の取り組みについて伺います。
- 答 (保健福祉部次長) : 事業再開にあたって、3密を避け配慮など感染拡大防止に努めるよう指導していきます。
- 問 経済面では生活困窮世帯が増えているので、相談体制の充実や社会福祉協議会との連携が大切になると思いますが見解を伺います。
- 答 (市長) : 生活に困っている方は生活保護をしっかりと申請すべきだと思います。また、困窮にもさまざまがあるので、社協と生活支援課が共同で「ライフナビ・えびな」という相談窓口を開設しました。まず相談を受けた上で対応し、必要なものがあれば予算化していきたいと思います。
- 問 せっかく前向きな相談窓口開設なので水際作戦と受け取られない丁寧な対応をお願いします。今回、国においてもさまざまな支援策がありますが、必要なところに届いていないという声があります。市長の考えを伺います。
- 答 (市長) : 国の2次補正分としての補正予算第5号とは別に、どういう形であれば全員の支援になるか分析しながら補正予算第6号を検討したいと考えています。
- 問 庁内でのICT活用について。今回の交代勤務にあたってICT技術などどのように活用されたのか伺います。
- 答 (市長室長) : ICTを活用した在宅勤務として、個人情報などが含まれないデータの持ち出しを許可しました。今後に備えて、オンラインでの会議やテレワークなどのICT技術の活用を検討していきます。
- 問 感染第2波に備えたクラウド化や市内公共施設の専用線工事などの環境整備が必要だと考えます。公的な審議会などに對してWEB会議を導入することを検討しているのか伺います。
- 答 (市長室長) : 個人情報などの漏洩に十分注意し、海老名市の環境に適したWEB会議の導入を検討していきたいと考えています。